



質問者
松井重樹議員

合併とは何か

問 赤穂市が、上郡町との合併を問うた9月9日の住民投票。その一連の流れから①どのような感慨を浮かべ、②「合併とは何か」を、どう突きつめて考えているか。

答 ①想像を超えた結果に、大きなショックを受け、たつの市民の感情にも少なからず影響を及ぼすと直感。直ちに幹部職員による庁議を開催。「たつの市も合併しないほうが良かったのでは」というムードが出ないか…など危機管理意識を持って、全員に検証を迫った。結果、本市合併の意義を市民に再認識していただくため、合併後2年間の経過を広報に掲載するよう指示。
②「無私の心で進まなければ…」という、ある新聞の論調に共感。

現地・現場主義による現状把握から対策を構築し、実行。その繰り返しにより、住民の住民による住民のための市政の展開を図ることで、突きつめていきたい。

成人式を

世紀を展望する祭典に

問 成人式は、中学の同窓会助成事業ではない。今日は、個人の自由度が増えることで、社会の不安定さが増している時代であり、平均寿命80歳の長寿社会。「成人式あり方をリセットしてみる価値」があると考えます。さしずめ、20歳の若者にくわえ、80歳の方々に4度目の成人式を迎えたとし招き、ともに祝いあう祭典にしてはどうか。

答 実行委員会に問いかけてみる。
問 JR山陽本線竜野駅周辺整備での問題点は何か。
答 駅北からも直接入れられるよう、バリアフリー化した駅舎の橋上化を検討したいが、まずは地域住民の理解と盛り上がり



問 街路決定から30数年、駅北・駅南それぞれの土地区画整理事業調査からは15年間手をつけぬまま合併。14年間旧揖保川町政の為政者だった者として、責任を感じているか。
答 調査の当時、担当はなかつたと思う。



質問者
三木茂毅議員

地球温暖化対策の推進を

問 10年前に地球温暖化防止会議で、1990年比で2008年から2012年迄に6%の温室効果ガスの削減を義務付け、国に於いても「地球温暖化に関する法律」が制定され、同法第21条に於いて、各市町村の事務、及び事業で排出する温室効果ガスの抑制措置の策定と、これを公表する事が市の取組はどうなっているのか。
答 「温暖化防止実行計画」を策定（年度内に）

昨年年度、「たつの市地球温暖化防止実行計画推進委員会」を立ち上げ、現在、基準年度のデータを集約中で、温室効果ガスの排出抑制策を年度内に策定したい。

放課後児童クラブの拡充を（4年生から6年生の参加と全学校での実施を）

問 現在は、低学年の実施で、高学年は除外されている。児童クラブに子どもが参加できない保護者が、仕事で放課後保育が出来なくて嘆いておられる。団塊の世代の教師を卒業された方の仕事として、指導員も確保できないのではないかと。財政面のムダを省き財源を確保し、ぜひ児童クラブの6年生までの拡充を図り、全ての学校で実施するのが公平ではないか。

答 拡充は困難
児童クラブの人数が急増し、教室の確保や指導員の確保が難しく、財政面からも困難である。スポーツ少年団やスポーツ21への参加も考慮してほしい。



放課後児童クラブの学習風景

ライフライン破壊時に井戸水の活用を

問 ライフラインが破壊された時、水が一番大切である。現在も井戸水を使用されている家もいくつかあるようで、災害時には水を利用して頂いて良いと伺っている。市として、このような井戸を調査し、その家と契約し非常時の活用を考えるとどうか。
答 制度導入に向け基礎調査に取り組む

水道管の耐震化等施設整備を進めると共に、井戸の登録制度を実施している自治体もあり、本市においても災害時に於ける市民の安心確保のため、この様な制度導入に向けて早急に基礎調査を実施したい。